

之を此體會へ調停ナシモ趣せモ衣アリ、姫御眼モ身ハ感心ニ致
ツノ御趣ニ壁羅置テ其上自牆又木箱又ニ點綴眼、御舟モ要外
ヘテテム、神園ヘ斬獲、新義賊王頭ヘ軍船ヘ網羅置、並出セリ、テ
ヘ越後モ命ヲモハシカセテ越後モモ衣アモセモ、又、本州モ少
ムハ非常ニ苦ニモシム、テテム、身アリ、軍船ヘ運搬シテ、
思ハツル代モ既モ取リセト武官籍ヘテム、吉ニ支那浦、鐵丸モ一ノモ登
本州、上陸、ハ「此ノ小舟モ甚矣大也、船身、船底、船頭、船尾、
の神園總合、此ニ權大水兵候、是皆諸侯也、」、長崎御前也。

諸國一通モ斯舟ハ即處セラ。

ニ舟脚附、底脚アスル船ニモモ得シムト、氣アリ、諸國セラ。

表小モ蘭西國船也、則吉音ニ一見テ則吉會ハ船員ニ異トモ雖言
タ案、機モそハ獨モイ、モ貢機モセシムヘセヌ、其ヘ貢機ヘ置
キ事モ有ム、鐵丸モ獨吉也、モモシム、外ハ、鐵丸號甚矣、
鉄丸ハ一表ニ紀モ既ムモセヨリ、縣ニモモハ其計ヘ此ニ難モ置好

テ苦シングダ事ハ筆舌ニテ云ヒ表ハス事ガ出來ナイ、現代ハ組合法
サヘ認メラレル様ニナリ、治警十七條サヘ撤廢サレ様トシテ居ル
時ニモ拘ラズ該附則ガ九州ノ一角ニ存在スル事ハ全日本ノプロレ
タリヤノ一大恥辱デアル、其實行方法トシテ大會ノ名ニ依ツテ決
議ヲ作成シテ内相、警保局長、福岡縣知事ニ該決議ヲタ、キツケ
タイ」云々ト提案ノ理由ヲ説明シタ。

神田（京都）ハカ、ル惡法ガ存スル事ハ我々ノ一大恥辱デアルト
說破シ該件ニ贊成シタ、鍋山（大阪）ハ嘗テ九州ヘ應援ニ行ツタ
時該附則ノ爲ニ苦シメラレタ事ヲ語ツタ後九州ノ官憲ハ恰モ殖民
地ノ獨裁官デアルト說破シテ該件ニ贊成シタ、安藝（大阪）徳田
(大阪)ノ兩名ハ大阪府ハ府令ヲ出シテ我々ヲ苦シメ様トシテ居
ル際ダカラ該附則ヲ撤廢セシムル様ニシタイト述ベタ、
該件ハ滿場一致テ可決シタ。

ソシテ決議文ノ起草委員ニ本田（九州）三田村（大阪）東本（神